

## 北限のオリーブ栽培実験の取組



石巻市は被災した沿岸地域、北上地区・雄勝地区・牡鹿地区の3か所で約130本のオリーブの試験栽培に取り組んでいる。

4月5日（火）には、4カ所目となる河北地区での植え付け作業を行った。

植え付けは、栽培管理業務を請け負う榊宮城リスタ大川と、関係行政職員ら21名の協力で、約1000㎡の土地に高さ1.5mの苗木を20本植えた。

平成27年度から、国内オリーブ栽培技術の先駆者である香川県小豆島の荒井氏（株式会社アライオリーブ代表取締役）の技術指導による栽培講習会を開催するとともに、県石巻農業改良普及センターの協力により北限でのオリーブの生育調査に取り組んでいる。

石巻市は、東北の中では日照時間が比較的長く、積雪も少ない気象条件と、東北地方ではあまり生産されていないことなどが、栽培実験を始めた理由である。

河北地区は、他の3カ所に比べ、風が強く条件は厳しいが、平和の象徴として震災を忘れない復興樹そして新たな農産物としての産地化が多方面から期待される。